

平成 29 年度 第 2 回 SD 研修会報告

内 容	宮崎学園の財政について説明会
日 時	平成 29 年 7 月 18 日 (火) 16:20～17:15 一旦終了 (質疑応答～17:50)
場 所	宮崎国際大学 1-201 教室
進 行	通訳：ウォーカー・ロイド氏
出席者	14 人参加 他教員 10 人
議 事 内 容	
<p>講師：宮崎国際大学 学長 山下 恵子 氏</p> <p>別添資料で、日本語・英語での説明が行われた。</p> <p>1. 宮崎学園全体の財政状況について</p> <p style="padding-left: 2em;">宮崎学園では、各学校の事務室に財務書類を備え付けて関係者の閲覧に供し、ホームページにも財政状況等の情報を公開している。</p> <p style="padding-left: 2em;">平成 28 年度は、短大で新館建築などで約 3 億円、清武みどり幼稚園で補助金 8 千万円を受け園舎増築で約 1 億 7 千万円の工事を行った。</p> <p style="padding-left: 2em;">平成 29 年度は、大学校舎、大学・短大体育館、大坪記念ホール、みどり幼稚園園舎の修繕等で約 1 億 3 千万の工事を計画している。</p> <p style="padding-left: 2em;">一方、定員 2,992 人に対して 2,294 人 (充足率 76.7%) で、人件費依存率は 102.9% です。つまり学納金だけでは人件費が賄えない状況です。</p> <p style="padding-left: 2em;">昨年度は、めったにない売却益 10 億等があり、収入超過となったが、なければ約 5 千万円の支出超過です。累計収支差額は約 15 億円のマイナスであり、校舎改築などの資金が不足しています。学園が永続することは非常に大切なことで、それには定員充足が必須の課題です。それに向けて、教職協働で選ばれる大学にしていきたいと思います。</p> <p>2. 財政状況表について学園全体と大学について</p> <p style="padding-left: 2em;">表の各項目について説明があった。</p>	